

奨学生近況

2年目終了の給食プロジェクト

CMIP が運営する小学校 3 校(アトモロック、ラムア
フス、キアミ)で行っている給食プロジェクト。2005 年
の 8 月に開始し、丸 2 年が経ちました。週 3 回の給
食は先生方の指導のもと、親の協力がかせません。
毎回 4、5 名の親が調理を担当し、焚き木、調味料、
野菜も用意します。また先生方は家庭でも野菜を食
べるように、同時に自宅の菜園にさまざまな野菜を
植えるよう指導しています。

下記はアトモロック校の 9 月のメニューです。おい
しそうですね！

日付	メニュー	人数
9.3	ココア味の甘いお粥	80
9.5	魚、卵と細麺炒め、ご飯	73
9.7	モンゴ豆と魚と野菜の煮込み	71
9.10	おいものココナツミルク煮	78
9.12	モンゴ豆と魚と野菜の煮込み	79
9.14	野菜入り麺	73
9.17	モンゴ豆と干し魚	77
9.19	鯛、野菜と細麺炒め、ご飯	76
9.21	鶏肉入りお粥	81
9.24	おいものココナツミルク煮	79
9.26	魚、野菜とビーフン炒め	80
9.28	魚と野菜の煮込み	81

日によって人数が違うのは、雨期のため道が悪く学
校へ来られなかったり、病気で休んだりしたため
です。

現在の問題は為替レートです。昨年までは牛乳も
配給していたのですが、円安・ペソ高のため牛乳を
買うことができなくなりました。身長、体重の増加がみ
られ、授業に集中できると評判の給食。1 年後の評
価によりプロジェクトを継続するかどうか話し合いま
す。



お母さんたちが調理を担当

頑張る！看護助手コース奨学生

2 ページの報告のうち、スフォ村とゴメロ村の巡回
診療には、看護助手コース奨学生のアナリサ、シェリ
リン、ジャネッサ、リリベスの 4 名がカレッジの許可を
取って同行しました。というのは 2 年生の彼女たちは
すでに病院での実習を行っているため、休むには許
可が必要なのです。



4 名には、大勢つめかける患者さんの受付と血圧
測定、診察前の簡単な問診をお願いしました。その
テキパキとしていること！患者さんにはビラーン語で
話しかけ、カルテには英語で記入していきます。本
人たちも「自分が学んだことでコミュニティに貢献で
きて嬉しい」「出身地以外の村に来て、同じビラーン
人を助けることができるなんて！」と感激した様子。
奨学金が役に立っていることを実感したひとときで
した。

高地のゴメロ村ではバラが咲いていました。住民が
庭で大事に育てているのです。一仕事終われば、ま
だ 20 歳前後の女の子。「一緒に写真撮って！」と頼
まれ上記の記念撮影となりましたが、植物を愛する
優しい心に私も感激しました。

高校卒業後の進路

上記の様に高校卒業後、奨学金を受けて進学できる
学生以外の子どもはどうしているのでしょうか？私が支援
して、この 3 月に高校を卒業したローダに偶然会うこ
とができました。場所はマーベルのパブリックマーケット。
レストランに勤めており、その買出しに来ていたのです。
味の方は評判の良いレストランとのことですがオーナー
は厳しく、月曜から土曜まで働いて給料は月 1000 ペソ
(約 2200 円)！しかしこの金額は先住民族だからとい
うわけではなく、高卒の初任給として妥当だということ
です。家族に仕送りするには全然足りないのですが、当
分はここで頑張る、とのことでした。(九島)